

【臨床研究実施計画書】（様式2）

1. 課題名 身体抑制予防～ケアを見つめなおし、抑制に頼らない看護～
2. 申請者（研究責任者） 所属： 看護部 3階病棟 職名： 看護師 氏名： 石井 淳子
3. 研究分担者 所属と氏名： 医療安全室 上岡佳代
4. 個人情報管理責任者 所属： 看護部 3階病棟 職名： 看護師 氏名： 石井 淳子
5. 実施場所 広瀬病院
6. 対象症例期間 2020年9月～2022年8月
7. 研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 院内経費 <input type="checkbox"/> 公的研究費 <input type="checkbox"/> その他（ ）
8. 共同研究機関及び氏名 なし
9. 研究意義・目的 当院は、在宅療養支援病院として24時間地域の医療を担っている。高齢化に伴い認知症患者も増加し、治療や安全のため身体抑制が必要な場合がある。しかし身体抑制は、高齢者の尊厳を脅かし、日常生活機能や意欲を低下させる。従って、身体抑制が日常化することによって、看護師及び看護助手の意識や感性が鈍麻することを回避する対策が必要である。 その第1歩として、身体拘束に関する看護師、看護助手の身体拘束に関する意識を調査する。個々の意識の転換を目的にアンケートを実施しその結果をもとに、問題点を抽出し、その後勉強会やカンファレンス等を実施し再度アンケートを行い、意識や抑制人数の変化を考察する。

10. 研究方法

広瀬病院の看護師と看護助手に対して、医療安全に関する以下の項目のアンケート調査をおこなう。

- ①安全面を考えると身体抑制が必要な場面はあると思いますか？
- ②不必要な身体抑制をしていると感じたことはありますか？
- ③身体抑制の代替案について検討していますか？
- ④身体抑制の代替案で効果的だった思うものはなんですか？
- ⑤身体抑制がよくないことの理由を言えますか？
- ⑥身体抑制を実施する際にあなたはどのような思いを抱きますか？
- ⑧身体抑制をしている継続期間について、長期化していると感じたことはありますか？
- ⑨身体抑制に関して家族への配慮はしていますか
- ⑩抑制期間中の認知症高齢者の思いについて、気にかけてことはありますか？
- ⑪身体抑制を解除した後、心身機能低下などの変化を感じたことはありますか？
- ⑫身体抑制を解除する際、迷いはありますか？

これらの結果を基に、広瀬病院全職員の医療安全に対する意識変化を解析する。

11. 倫理的配慮

(1) 個人情報の保護

匿名化をおこない、学会や論文発表等をおこなっても個人が特定できないようにする。

(2) 研究対象者に生じる不利益及び危険性

匿名化された職員へのアンケート調査のため、研究対象者に生じる不利益及び危険性はないと考えられる。

(3) インフォームドコンセント、オプトアウト、その他

職員に対するアンケート調査のため、インフォームドコンセントやオプトアウトは必要ないが、研究内容に関しては広瀬病院のホームページで公開する。

12. 利益相反

なし

13. 特記事項

なし

年 月 日 所属部署

氏名

印